



妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎 ～あらすじ～

怪しげなおじさんに、骨董屋に鏡を持っていくように言われたユウトは、人形となにやら話はじめるが、持ってきた鏡が突然光を吸い込まれ不思議な空間に投げ出されます。そこで、出会う不思議な妖怪たち。しかし、妖怪たちが欲しがっているのは人間の心。ユウトを助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上がります。自分も妖怪になるのか？ユウト(人間)と鬼太郎(妖怪)の心

妖怪影絵の 魅力

動物の皮を使った影絵劇は、その表現の豊かさ、面白さからアジアを中心に広く世界に伝わっています。水牛の皮を用いたインドネシアのワヤン、トルコやギリシャでは、ラクダの皮を使ったカラギョーズなどが有名ですが、2011年ユネスコ世界無形文化遺産に登録された中国の皮影戯(ピーインシー)が、その起源ともいわれています。劇団影法師では、30年前よりこの皮影戯(ピーインシー)の公演を続けておりますが、今回の妖怪影絵「ゲゲゲの鬼太郎」の舞台では、この技法を高めた独特の影絵世界を作り上げています。

■プログラム 上演時間：80分(休憩含む)

妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」…50分

休憩…10分

不思議な音のワークショップ…20分

学習発表会のヒントになる、 不思議な音の体験ワークショップ

劇中に使われる効果音。演劇の世界ではとても重要な役割を果たします。現在は本物の音もよく使いますが、本物を超える素晴らしい効果音もあります。想像力が生み出す音を皆さんに体験して頂きたいと思います。



妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」



※公演終了後、不思議な世界のバックステージ見学あり。(影絵の仕組みをのぞいちゃおう!)

